Popoki

Newsletter

No.160 2018.12.24

ronniandpopoki(at)gmail.com
http://popoki.cruisejapan.com

本年は大変お世話になりました！
ありがとうございました！

良いお年をお迎えください！

Popoki's Hot News!

Coming soon!
「絵と絵本と医療と災害のもちよりパーティ Part 2」
「避難袋に＋（プラス）一品！」
2019 年 1 月 13 日　13:30～　神戸学生青年センター
詳しくは、本号 7～8 ページをご参照。

「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちの Agnes にゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。「知らない場所で誰かが微笑んでくれると平和を感じます。」
あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。
ポーポキのメール ronniandpopoki (at) gmail.com！

講演会に登場するポーポキ

ろにゃん

ここのところ、私は色々なところで講演をしています。依頼されるときは、「ポーポキと一緒」の場合もそうでない場合もあります。でも、ポーポキの依頼がなくても、相棒のポーポキはいつも一緒に登場します。

先日は、長年お世話になっている被ばく者の方の依頼を受けて、「ポーポキと一緒に平和を考えるワークショップ」を東京の杉並区で行いました。光友会や杉並区の原爆被爆者の会の主催で、被爆者の証言の後にポーポキと一緒に登場しました。私の平和の原点の一つは、広島 YMCA で働いていた時代に出会ったヒロシマですので、被爆者の方々を相手に平和を語るという緊張と、懐かしい人にお会いできるという楽しみもありました。ヒロシマ時代の話やポーポキの話、平和の話、色々な話をしました。「２０年ぐらい、クレヨンというものを持ったことがない人、手をあげてください」と聞いたとき、ほとんどの参加者が手をあげました。でも、紙とクレヨンをくばり、グループで「平和な街」などの課題を与えたら、みんなが一所懸命に描きはじめました。硬い表情が笑顔に変わり、声をあげて笑う人もいました。最後の「批評」は光友会の会長が自ら出てきて楽しく行ってくれました。そして、最後の質問の時間に、「武器(警察などを含む)なしで本当に治安を維持することは可能？」、「私たちに平和のためにできることのメッセージ」など、考えさせられる質問がありました。

笑い、おしゃべり、驚き、共有、発見、学び…。平和のためでもあり、平和だからできるかもしれませんね。これからもお元気で一緒に学ばせていただきたいです。

＊ある方に昔のことを話していただきました。「あの時は精神的に苦しい時期だった。話さなければならないのに、頭が真っ白になったりして。あのときにポーポキと出会ったね。本当に助けられました。」

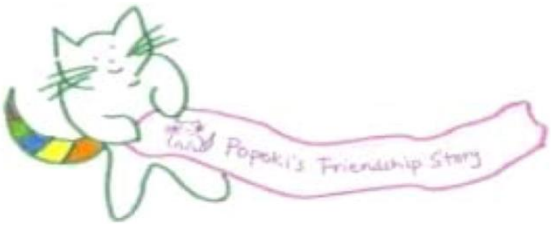
もう一つの講演は大分高専。神戸から大分までは電車で乗り継いで４時間半。この講演のテーマは「ダイバーシティ」ですが、やはりポーポキが同行！そして、講演に色々なポーポキが出没しました。統一を保ったダイバーシティ？みんなが違うダイバーシティ？寂しく泣くポーポキや、踊るポーポキ、色々なポーポキがいました。おかげで、雰囲気が柔らかくなって、LGBTQI の話など、参加者の中でちょっって苦手な話でも素直に聞いていただけました。大分の温泉に入ることができませんでしたが、とっても暖かい歓迎を受け、おいしいごはんを食べ、とても良い大分旅行でした。そして、ポーポキは大分にも友だちがきたことが何よりもうれしい。みなさん、ありがとうございました。

ポーポキは今年も YMCA 国際協力募金の支援

ろにゃん

一昨年、YMCA の国際委員会のもとで、ポーポキのかみしばいをつくりました。泣いているポーポキを動物たちがみんな無視する。けれど、ペンギンはそのポーポキにサカナをあげ、そしてみんなに一緒にサカナを食べないかと声をかけます。「違うから笑われる」が「違っても楽しい」に変わります。泣いている子に笑顔をもたらすための国際協力募金活動に使われている物語です。

その一環として、最近はYMCAに行くと、このかみしばいの動画がモニターに流れています。観るたびに、うれしくなります。当たり前かもしれませんが、ポーポキが好きです。
色々な人を助けるポーポキと一緒に活動を続けたいね。



Popoki's Interview

松田永井道子さん

聞き手　さとにゃん

ポーポキとの出会い

Q　いつポーポキと出会ったのですか？
　A　２００６年、まだ本ができる前に、ポーポキのコンテンツを使ったプログラムをしました。「APAY」と言うプログラムで海外の参加者も多く、いろんな国の人と話をするのにポーポキがいるとスムーズに話ができるのがとても興味深かったです。
Q　今まで、色々な側面でポーポキと関わってくださっていますが、ポーポキの活動をどう思われますか。
A　１０年経って、やっと回りがポーポキに追いついてきたって感じがします。
　　ポーポキは、アプローチは変わってもベースにあるものはどーーんと変わらない。
　　トピックスを持って、色いろんな提案をして、今は色々なところで言われているけれど、その当時からアートを取り込んでいる。
　　アレキサンダー先生（ろにゃん）がいう無声で色々な表現をするということがどういう意味か分からなかったけれど、今になったら分かる。
　　ポーポキは猫で、人をモチーフにすると抵抗があるけれど、動物だからすーっと入れて抵抗がない。

　　色々なことに参加すると楽しめるのに、特に日本人はどうしても大人はまじめでなければダメと思っているところがある。
　　そこで、常識や枠組みを取っ払った存在があって、五感を使ってアートを使って、気がついたら心がほっとしていて。ポーポキマジック！
　　これからもずっと関わっていきたいと思っています。

ろにゃん：ふと気がつくとポーポキが隣に座っていることに気づいて、暖かさや安心を感じて、そこから何かが変わる。今の時代のスピードには合わないかも知れないけれど、今の人はそれを求めているかも知れない。

松田さん、ろにゃん　ありがとうございました。

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 127
今月のテーマは、ダンス！

1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. では、ダンスしましょう。まずは右側へ全身でスイング！左側へスイング！
3. 次は、全身で大きな丸を描きましょう。右から大きく回って・・・。そして、左側からも！
4. 最後はつま先立ち！高～くなってからスピン！
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低３分間練習しましょうね。

ご一緒にいかが？

次回のポー会：１月　日　19:00～　灘薬剤師会(JR 六甲道すぐ)

12.25　　ポー年会！
1.13　13:30　絵と絵本と医療と災害の持ち寄りパーティ Part 2 ポーポキと安全・安心を考えるイベント　会場：神戸学生青年センター　７～８ページをご参照！
2.7～12　ポーポキ in 大槌町と大船渡！

ポーポキの友だちから
新しい絵本：中條聖子著、ロニー・アレキサンダー訳『森のかんづめ』（日英版）エピック 2017年

絵と絵本と医療と災害の持ち寄りパーティ Part 2

Pot Luck Party with Drawings & Picture Books & Medical Care & Disaster

「避難袋に十一品」 "+One Item in your Emergency Kit"

「皆で安全・安心を描こう！安全・安心な社会を語ろう」

"Let's draw being and feeling safe!
Let's talk about a society where we can be and feel safe"

日時 2019 年 1 月 13 日（日）（13:30～16:00）

場所 神戸学生青年センター Kobe Student Youth Center
兵庫県神戸市灘区 山田町 3 丁目 1-1 http://ksyc.jp/

問い合わせ先 ポーポキ・ピース・プロジェクト FAX 078-304-2790
Information Popoki Peace Project e-mail ronniandpopoki@gmail.com

メッセージ・Message

私たちは日常生活の中で、「不安」になるきっかけが多数あります。その一つは「災害」です。避難勧告が出たら、どうすればよいかは考えることがあっても、自分や周りの人を落ち着かせる方法や元気をつける方法まではあまり考えることがないと思います。私たちはみんな、不安がるものも安心できるきっかけも異なっています。今回の「もちよりパーティ」では、さまざまな「安心」をもちよって、より安心できる生活についてお話をします。

プログラム・Program

１３：００ 受付開始 Registration
１３：３０ あいさつ Greetings
１３：４０ トークタイム Talk time
ゲスト 元持 幸子（Motomochi Sachiko）さん（岩手県大槌町在住・特定非営利活動法人つどい 事務局長）
ゲスト 赤城 修司（Akagi Shuji）さん（福島市在住・写真家）
１４：３０ 休憩タイム Break
１４：４０ 紙芝居 「ポーポキ、安心、描ける？」
Kamishibai: "Popoki, Can you draw feeling safe?"
１４：４５ お絵描きタイム Drawing time
みんなで大きな絵を描きます！
Drawing a big picture together!
１５：３０ 発表タイム Presentation time

主催：アート・災害・安心研究会（神戸大学社会システムイノベーションセンター）
協力：ポーポーキ・ピース・プロジェクト・神戸大学ユネスコチェア事業

絵と絵本と医療と災害の持ち寄りパーティ Part 2

Pot Luck Party with Drawings & Picture Books & Medical Care & Disaster 2

特別ゲスト紹介・Special guests

Motomochi Sachiko

元持 幸子 さん（もともち　さちこ・MOTOMOCHI Sachiko）

特定非営利活動法人つどい　事務局長

東日本大震災時、緊急救援活動を岩手県釜石市・大槌町にて行う。翌年、故郷の大槌町を拠点とした「特定非営利活動法人つどい」を立ち上げ、住民の集まる場のコーディネートや人材育成等を行う。これまで、病院や地域医療・地域福祉分野で理学療法士として勤務、英国障害者施設や青年海外協力隊派遣などの経験も加わり、多様性ある暮らし・地域づくりを実践していきたいと活動中。震災復興に向け、住民力を出し合おうと結成された大槌町 **NPO** ボランティア団体連絡協議会の会長として、地域力向上を目指している。

Participates in emergency relief activities in Kamaishi and Otsuchi-cho, Iwate Prefecture, after the Great East Japan Earthquake. The following year, she established the NPO 'Tsudoi' in her hometown of Otsuchi, coordinating activities to give residents a place to gather and foster leadership. She has worked in healthcare as a physical therapist, and after gaining experience in a British facility for people with special needs and the Japan Overseas Volunteer Corps, she decided to work to create a lifestyle and community with respect for diversity. As the director of the Otsuchi-cho NPO Voluntary Organization Network, she is working toward recovery and the full implementation of cooperative community power.

赤城修司さん　（あかぎ　しゅうじ・AKAGI Shuji）

1967 年、福島県生まれ。筑波大学芸術専門学群洋画コース卒業。青年海外協力隊員美術教師として 1994 年から 2 年間ブルガリアで活動。2011 年 3 月、東京電力福島第一原子力発電所事故をきっかけに、福島市内を写真で記録し、Twitter で発信し始める。2015 年、写真集「Fukushima Traces, 2011-2013」刊行（オシリス）。2016 年、BS11「アーサー・ビナード 日本人探訪」出演。出品展覧会に、2013 年「未来の体温 after AZUMAYA」（山本現代、アラタニウラノ）。2014 年「Transmission」（スタジオ 35 分）。2015 年「Don't follow the wind」（福島県の帰還困難区域内）。2016 年「種差デコンタ 2016」（八戸市美術館）、「Perpetual Uncertainty」（スウェーデン、ウメオ美術館）など。

1967 Born in Fukushima Prefecture. Graduated from the Western Painting Course in the Art Department of Tsukuba University. From 1994-1996, he worked as an art teacher in Bulgaria as a member of the Japan Overseas Volunteer Corps. 2011.3 After the TEPCO Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident, he began taking photos in Fukushima City and publishing them on Twitter. 2015 Published collection of photos called *Fukushima Traces, 2011-2013* (Oshirisu). In 2016, he was featured on BS11 "Arthur Binard Looking for Japanese". Among his exhibitions are: "未来の体温(*Mirai no Taion*) after AZUMAYA" (2013. Yamamoto Gendai, Arataniurano), "Transmission" (2014, Studio 35 minutes), "Don't follow the wind" (2015, in the Fukushima Pref. exclusion zone), "Species Difference Dekonta" 種差デコンタ 2016", (2016, Yao City Art Museum), "Perpetual Uncertainty" (2016, Umeo Art Museum, Sweden).

ポーポキ・Popoki

神戸生まれの平和が大好きなねこ。最近は安全安心に興味。みんなと友だち　になって、仲良くしたい。

A cat born in Kobe who loves peace. He is interested in being and feeling safe and wants to be everyone's friend.

Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー：
http://popoki.cruisejapan.com/archives.html

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのまど 52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange http://www.interpeople.or.jp
- **関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ（WEB版の事例集）にポーポキ！http://www.interpeople.or.jp**
- **『平和を考える絵本出版　被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈　2014.4.25　28 面）**
- **「ボランティア 37 団体に助成　大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23　朝刊　地域経済　8 面）**
- **「原爆の熱線で焼き付いた一　″人影″再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7　朝刊　22 面）**
- 「被災　秘めた思い描いて」「ひと人抄」『読売新聞』（2013.2.16　夕刊　4 面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー　『毎日新聞』 2012.10.29 （「今、平和を語る」、夕刊、1 面）
- R. Alexander. "Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War." *International Feminist Journal of Politics.* Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒につくり出す平和の根底に 9 条がある」NO：66 2012 年 5 月 12 日［子どもと守る9条の会］
- 「布に希望　60 メートル」 阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29 面)
- 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志　『神戸新聞』 2012.1.19　(伝える 1・17　3・11、22 面)
- K. Wada. "Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?" *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. "The Art of Healing" (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) "The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima.* Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- **「省窓」『神戸青年』 No.606　2011.1.2 p.1**
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色？』の背後にあるもの」 (連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ：こくさいのまで⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- ［ヒロシマと世界：　被爆地の声　非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え］ **http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja**
- 2010.3.15 中国新聞　ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO　76.5 'Heart Lines' 2010.1.9　Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- "Human Rights, Popoki and Bare Life." *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (http://www.infactispax.org/journal/)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会） No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号　2009.11　伊丹市国際・平和交流協会　年間事業報告　pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌　ポーポキ・ピース・チャンレジ情報　p.12
- **区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2.　ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。**
- **「『ポーポキ、友情って、なに色？』」「私のいち押し」 奥田光子　THE GAIDAI　2009.7.17　No.243 （関西外大通信）**
- **「友情って・・・考える絵本」 朝日新聞 「生活」(阿久沢悦子） 2009.7.2**
- **「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信　RST/ALN　2009.6.28　No. 259, p.11**
- **「カティング・エッジ」 第 35 号　2009.6 （北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」）「新刊紹介：『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック 2」（レベッカ・ジェニスン） p.3**
- **「猫を通して平和を考える　絵本の第 2 弾を出版」（斎藤雅志） 神戸新聞　2009.4.21**
- **「ポーポキ、平和ってなに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1　No.593　p.2**
- **「ポーポキ、ゴミってなに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592　p.2**
- **「友だちになってくれませんか？」 RST／ALN　2009.2.22**
- **ラジオ番組の中のポーポキ！！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。　http://www.kizzna.fm/　録音番組。（リンクは現在無効）**
- **やさしいから人なんです展パート20　実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所　2008. 10　500 円。 詳しくは： blrhyg@osk3.3web.ne.jp**
- **「KFAW カレッジ　ロニー・アレキサンダー氏　講演会」 エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 （アジア女性交流・研究フォーラム）**
- **「ピースセミナー　in　熊本　あなたにとっての「平和」とは？」 Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1**
- **神戸新聞 「人権宣言　兵庫から発信　全 30 条　イラストで表現　地元ゆかり　6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10**

私にとってポーポキ

なぎさニャン

もう 3 ヶ月前のことになるのですが、ろにゃん先生のご紹介で、神戸 YMCA 主催のラオスワークキャンプに参加しました。一度長期滞在を経験したことのあるラオスでしたが、私にとっての「新しいラオス」をたくさん見つけることができました。また大切な仲間ができ、忘れられない 1 週間となりました。

ラオスの「バーシー」という文化をご紹介します。バーシーは結婚、就職、旅立ちなどの人生の節目に、その人の幸せと成功を願って腕に白い糸を巻く儀式です。私も村でのホームステイ最終日にたくさんの糸を巻いていただきました。他人の幸せを日頃から願うこと、思いやりをもって毎日を過ごすこと…。毎日が忙しい日本の生活で忘れてしまっていた大切なことを、このキャンプを通して気づくことができました。

このような素晴らしい経験ができたのも、ポーポキが YMCA の大切な友達だったからだと信じています。そして YMCA はラオスにもたくさんの仲間ができました。私たちの絆はこれからもずっと続く強いものだと思っています。一つ一つの出会いを大切にし、関わってくれた皆様に恩返しができるよう、日々精進していきたいと思います。

バーシーの様子

ホームステイしたパクムード村

ご協力お願いいたします！

ポーポキ･ピース･プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース･ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース･ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース･ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語　東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース･ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース･ブックの翻訳（『ピース･ブック1』は既に10ヵ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース･ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさりたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「ご一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いいたいと存じます。本の購入･寄付･本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561･FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ･ピース･プロジェクト　popokipeace(at)gmail.com

http://popoki.cruisejapan.com
郵便振替口座番号　00920－4－280350
ゆうちょ銀行　店番099　店名099店　当座　口座番号0280350
口座名　　ポーポキ･ピース･プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円　何口でも結構です。

THANK YOU FROM POPOKI!